

令和5年度 審判部 活動報告並びに諸連絡

【 1 】 2023年度（令和5年度）報告

◇ 県大会の公式審判員及び運営委員の選出 （ ）の数字は前年度の人数

- 今年度の審判委嘱 137名（134名） 運営委員 16名（16名）
（ 審判段位 八段 10名(10)・七段 32名(31)・六段 27名(29)・五段 39名(35)・四段 29名(29) ）
- 今年度実施の大会：審判員の人数不足は起こっていないが、女子大会は人数が少ない状況にあった。
今年度より専門委員になられ、剣道四段以上の先生は、来年度から公式審判員として委嘱予定である。

◇ 県大会審判員・運営委員の割り振り

- 顧問が複数いる場合も、庶務部からのデータによって監督が明確になったため、割り振りのミスは減った。
男女同時開催の大会では、引き続き監督が当該試合場になるように割り振りを行っていく。
- 男女同時開催の大会において、今年度の指名審判は準々決勝から実施した。
- 新人大会では、若手の五段以上の先生方を積極的に指名審判に指名した。

◇ 県大会の審判運営全般

- ・全日本剣道連盟「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」（令和2年8月27日発出文書）に対する全国高体連剣道専門部の試合・審判法の共通認識を審判員が共有できるよう、来年度も引き続き講習会等を通じてより審判員の認識を深めていく必要がある。
- ・男子大会と女子大会、土日開催の違いにより、審判員や運営委員の数が少なくなることや当日の出欠席の増減が多くなる等、大会に出席する審判員や運営委員への負担が大きくなってしまいう状況が見受けられた。特に、土曜日・日曜日によらず、女子大会や後期大会の新人大会は少ない状況であった。
- ・審判員の所作については、以下の点を来年度も改善目標としたい。
→ 審判員席での足組み・腕組みや携帯電話の利用、居眠り（本部席2列目座席も同様）が行われている。
- ・前期及び後期の審判登録を行っていない先生が多く、審判部員が個別に連絡を行っている状況にある。
→ ホームページからの大会申込時に、審判登録を忘れずにを行うこと。
※ 複数顧問がいる場合は、大会申込みを行った先生から、審判登録を行うよう、ご連絡ください。

◇ 関東大会、全国大会への審判派遣

- ・関東大会(千葉県開催) 10名派遣
有馬 裕史(橋本・副審判長)
前川 勝(浅野)・細川 諭(荏田)・鈴木 幸也(大磯)
高山 達也(幸)・佐藤 宏拓稜(柏木学園)・樋口 崇(藤嶺藤沢)
増田 昭雄(湘南工大)・千葉 祐輔(横須賀工業)・笹沼 立樹(大和南)
- ・全国高校総体(北海道開催) 3名派遣
今里 学(荏田・全国高体連副部長)・前川 勝(浅野・審判副主任)
加藤 伸一(相模原弥栄)・樋口 崇(藤嶺藤沢)
- ・第47回全国高等学校・中学校剣道(部活動)指導者研修会(千葉県勝浦市 日本武道館研修センター 開催)
講師：今里 学(荏田)・前川 勝(浅野) 神奈川県派遣：佐藤 宏拓稜(柏木学園)
- ・全国選抜大会(愛知県開催)
派遣(予定)：今里 学(荏田・全国高体連副部長)・前川 勝(浅野)
加藤 伸一(相模原弥栄)・樋口 崇(藤嶺藤沢)

◇ 審判講習会の開催及び運営

剣道審判講習会：73名出席

7月16日(日) 県立 相模原弥栄高等学校/主催：神奈川県高体連剣道専門部

【 2 】 2024年度（令和6年度）に向けた審判部の意見

◇ 審判技量の向上に向けた取り組み

- ・試合ごとに、3名の審判員の先生方での審判のすり合わせを積極的に実施する。
※ 不明点があれば、審判主任または審判部へ確認を行うこと。
- ・審判主任の先生が「アドバイスメモ」を記入し、各審判員に渡してもらう。
※ 審判員は、審判主任から渡されたアドバイスメモをよく確認し、次の試合に活かすこと。

◇ 新人大会の男女同時開催について

- ・令和5年度の実施方法で男女同時に開催したが、非常にスムーズな審判割り振りができた。
- ・審判部としては、引き続き新人大会は男女同時開催を要望したい。
(理由)
 - ・3年生が引退し、1・2年生の人数が少なく出場できなくなる学校が増えることで、審判員の人数も前期に比べて少なく、審判の割り振りの作成が難しい状況にある。
※ 団体戦は17時を超えてしまったが、大会引率日数を1日増やす方が各先生方の負担となるため。

【 3 】 2024年度（令和6年度）に向けた取り組み

◇ 県大会審判員・運営委員の割り振り

- ・上位審判員は、世代交代を考慮し、五段の先生を積極的に割り振りを行っている。
令和5年度より、関東派遣審判員は特に認められた場合、五段を派遣できるようになっている。
また、監督の出身校、出身大学を考慮して割り振りを行っている。
→ 特に、準々決勝からは、申し込み時の監督が監督席に座ること。
監督の変更は、大会当日の朝の打合せまでに審判部に申し出ること。

◇ 審判講習会の開催及び運営

- ・学校・警察 剣道伝達講習会（神奈川県剣道連盟） 未 定 場所「東海大学」（予定）
 - ・剣道審判研修会（神奈川県高体連剣道専門部） 7月15日（月・祝） 場所「相模原弥栄高等学校」（予定）
 - ・剣道講習会（神奈川県学校剣道連盟） 未 定 場所「東海大学」（予定）
- ※ 各講習会・研修会の出欠席に関しては、必ず提出期日を厳守してください。
また、『新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法』の周知と徹底を図る目的でも実施されますので、校務ご多忙とは存じますが、積極的にご参加ください。
さらに、講習会の内容は、より良い試合運営とともに生徒の指導においても参考になりますので、剣道経験のない顧問の先生方も積極的にご参加ください。

【 4 】 審判員及び大会運営委員の服装について

全日本剣道連盟 試合・審判規則 同細則に準じて、次のとおりとする。

- (1) 紺色無地の上着 (2) 灰色(グレー)無地のズボン (3) 白色無地ワイシャツ (ボタンダウン不可)
(4) えんじ色無地のネクタイ (5) 紺色無地の靴下 (6) 審判員章または運営委員章 (7) 審判旗

◎ 6月～9月の大会時の服装について

ワイシャツ(半袖)・えんじ色無地のネクタイ・灰色(グレー)無地のズボン・紺色無地の靴下・審判員章または運営委員章

※ 大会当日の気候等の状況により、専門部長、専門委員長及び審判長(副審判長)と協議の上、上着を着用しなかったり、ネクタイを外したりする等の判断を行うことがある。

※ 上着の下にセーター・ベスト等は着用しない。

【 5 】 その他

◇ 大会前登録（審判員、運営委員、監督）について

- ・「前期（関東・全国）」「後期（新人・選抜）」の2回に分けて、出欠確認を行います。
ホームページの「大会要項・大会申込」ページ「審判員・運営委員登録」から出欠登録をお願いします。
※ 複数顧問のいる学校は、個別に登録をお願いします。
なお、選手がいない場合でも、ホームページから出欠席の登録をお願いします。

◇ 大会当日受付（審判員、運営委員）について

- ・朝の打ち合わせ20分前までに、会場に掲示されているQRコードにて受付を行ってください。
※ 審判員割り振りの都合上時間厳守をお願いいたします。

◇ 欠席・変更（審判員、運営委員、監督）連絡先について

- ・審判部出欠確認専用アドレス kanagawa.kendo.shinpan@gmail.com